

質疑/問・答弁者	質疑/問 ・ 答 弁 要 旨
<p style="text-align: center;">公明党 村上 直樹 議員</p> <p style="text-align: center;">保健福祉局長</p>	<p>障害者支援について</p> <p>(質疑要旨) 二点目に、障がい者を対象としたタクシー運賃の一部助成制度についてお伺いします。この助成制度は、視覚障害者、肢体不自由の下肢・体幹・移動機能障害及び内部障害者で身体障害者手帳が1・2級の方（但し、複数の障害の合併により、1・2級となっている人を除く）などを対象としておりますが、現在、対象者はどれくらいいるのでしょうか。また、なぜ肢体不自由の上肢障害の方は含まれないのでしょうか。例えば、両手が使えず車の運転ができないという上肢障害の方は、公共交通機関に頼らざるを得ないため、タクシー運賃の助成制度が必要です。そこで、上肢障害の方も助成対象に含めるよう拡充すべきと考えますが、併せて見解をお伺いします。</p> <p>(答弁要旨) 私からは、障害者支援について2点ご答弁いたします。 まず、タクシー運賃の一部助成制度に関しまして、上肢障害の方にも助成対象に含めるよう拡充すべきというご指摘がございました。障害のある方が安心していきいきと暮らすことができるよう、障害年金や各種手当などの経済的支援、それからホームヘルパー派遣やショートステイなどの法に基づく障害福祉サービス、さらにはタクシー運賃助成やリフトバスの運行などの市独自のサービス等、様々な支援制度がございます。そのうち、障害のある方へのタクシー乗車運賃の助成は、市民税非課税世帯に属する方で、外出に困難さを抱える重度障害のある方、具体的に申しますと、身体障害者手帳の場合は視覚障害、または上肢障害を除く肢体不自由、もしくは内部障害のそれぞれ1級・2級、それから療育手帳の場合はAです。それからさらに精神障害者保健福祉手帳の場合は1級、こういったいずれかの手帳をお持ちの方に対しまして、タクシー運賃の一部を助成することで外出の利便を図り、社会参加の促進を図るというものでございます。なお、この事業で助成を受けておられる方は、平成29年度で4,980人で、ここ数年は5,000人程度、事業費は8,200万程度で推移しているところでございます。このタクシー助成事業は、公共交通機関の利用による外出が困難な方の社会参加促進を目的としておりまして、上肢障害のみを有する方というのは対象外としているところでございます。本市の障害福祉関係予算は、法定サービスの増加や制度拡充に伴い、平成30年度は約462億円ということで、この5年間で131億円ほど増額しております。こうした状況の中で、全額本市の負担となる、このタクシー運賃の助成の拡充を行うというのは、なかなか難しいという状況でございます。上肢障害のみの方は、タクシー運賃助成は対象になりませんが、例えば「自動車運転免許取得費用の助成」ですとか、就労のために自ら運転される方の「自動車改造費用の助成」、こういったものを利用できまして、今後とも、これらの制度</p>

平成31年3月議会報告

担当：障害者支援課

質疑/問・答弁者	質疑/問 ・ 答 弁 要 旨
<p style="text-align: center;">公明党 村上 直樹 議員</p>	<p>を効果的に活用しながら、外出支援や社会参加の促進を図ってまいりたい、このように考えております。</p> <p>(要望)</p> <p>それから、タクシー運賃助成の件なんですけども、当然これは私、市民の方から相談をいただいたんですね。で、取り上げさせていただいたんですけども、その方ですね、もともと別の地域に住まれてて、北九州に引っ越してこられた方なんですけども、以前住んでた自治体では上肢障害でもタクシー運賃の助成があったということで、北九州に来て不便になりましたということ、相談があったんです。私、北九州に来て不便になりましたという言葉聞くの、他でもあったんですけど、一番なんか嫌な言葉なんですね。治安が悪いとか、北九州汚いとかいう言葉よりも、不便になりましたという言葉が一番なんか嫌な言葉なんですけども、今ですね、先ほど車の改造の助成とか言われてましたけども、技術の進歩によって下肢障害があっても運転できる車っていうのがあるんですね。例えばアクセルを左手で、ブレーキと一緒に踏むとかですね。あと、ハンドルも旋回ノブがついてて、ぐるぐる回しながら運転できるというですね、操作もあるんですけども、逆に上肢障害の方で、それができないですよ。手が使えないですから、できないんですけども、今回取り上げたのはですね、下肢障害があっても車が運転ができる人のタクシー助成をいらないんじゃないかということ言ってるわけじゃなくて、あくまでも今の制度を拡充してほしいという要望ですので、そういう要望があるってということで、是非検討をまたしていただければと思いますので、よろしく願いいたします。</p>